



“まちのつながり”をコロナ禍でもつくらう♪と町会長の呼びかけで始まった「まちなが作品展」。令和5年2月6日～10日池尻まちづくりセンターで実施され、250名の来場者に恵まれました。展示中、作品を通じて来場者が楽しそうにお話をされている姿があちらこちらで見られ、とても印象的でした。ボランティアとして関わった出展者も来場者と作品について話を交わしておりました。

作品を通じて生まれた交流と人とのつながりや来場者の「本当に素敵な作品がいっぱい！次回の開催が楽しみ(^^♪)」といった声からも、来場者の満足度の高さがうかがえた「まちなが作品展」でした！

### 前期古着・古布回収 実績報告

6月3日(土)に実施し、550名ほどの方々に持参いただきました。ご協力ありがとうございました！  
回収量：3,920kg

### ★★★★ 池尻まちづくりセンター 改修工事のお知らせ

9月上旬から池尻まちづくりセンターの改修工事により、一部施設がご利用いただけません。ご迷惑おかけいたしますが、よろしくお祈りします。

### ★川柳を募集します★

心温まる川柳や、思わず笑ってしまふ川柳を作ってみませんか。応募して頂いた作品は選考の上次号の『わんぱち』にて掲載します。匿名でもかまいません。ふるってご応募お待ちしております。ペンネームも可。  
応募方法：池尻まちづくりセンター一階の川柳BOXにご投函下さい。用紙は自由です。

暑い中 芙蓉の花に 癒されて  
夕ごはん 具材をかえて またカレー  
グリーンカーテン 暑さ忘れて 待つボーヤ  
タテコ

### 行事予定

- 8月25日(金) 夏季レクリエーション
- 10月 5日(木) 12日(木) 19日(木) 26日(木)  
健康教室 (全4回)
- 10月～12月頃予定 冬の花の寄せ植え講習会
- 11月または、令和6年1～3月予定  
池尻・三宿 音楽サロン
- 11月25日(土) 古着・古布回収
- 12月3日(日) 後期 池尻・三宿クリーンDAY  
令和6年
- 1月～2月頃予定  
リサイクル啓発ポスター展
- 2月頃予定 さぎ草植え込み講習会
- 3月3日(日) 子どももちつき大会
- 3月30日(土) 春の歩こう会
- 時期未定 子ども服と本のリサイクル会



池尻・三宿地区  
キャラクター  
《みいけ》

### 広報部会員

池尻東親会	徳永 静	池尻4丁目町会	津村 和代
池尻西町会	落合ともこ	池尻団地自治会	野田 俊和
池尻南睦会	小野 克己	三宿自治会	小林 正典
池尻北自治会	山田 郁枝	三宿北町会	高久みどり

●「わんぱち」は、池尻まちづくりセンターで配布しています。また、区のホームページには、「わんぱち」をはじめとして、地区の情報を掲載しています。ぜひご覧ください。



池尻まちづくりセンター 検索

※新型コロナウイルス感染症の為わんぱち77号78号は欠番です。



# わんぱち

発行者 身近なまちづくり推進協議会広報部  
事務局 池尻まちづくりセンター  
TEL 3413-1843  
FAX 5486-7664

### 池尻まちづくりセンター所長挨拶

清水所長の後任として祖師谷まちづくりセンターから異動してきました岩野です。祖師谷での勤務が8年続きましたので、久々の異動となり心機一転、職員及び皆様とともにまちづくりを進めてまいりたいと思います。前任地のまちづくりセンターは商店街のど真ん中であって人々の賑わいの声に囲まれていた祖師谷とは違い、落ち着いた街並みと公園の中に溶け込んでいて静かな雰囲気の中の池尻

まちづくりセンターに勤務できることを嬉しく思っております。

地区ビジョンでもある  
「災害に強い助け合いのまち」  
「犯罪のない安全安心なまち」  
「支えあいのやさしいまち」  
を目指し職員一同取り組んでまいりますので今後ともよろしくお祈りします。



岩野 伸二郎

### 令和4年度 池尻地区 ●バス・研・修・会●



身近なまちづくり推進協議会 ごみ減量・リサイクル推進委員会の共同開催による施設見学会が、令和5年2月14日(火)3年ぶりに開催されました。今回は広報部が幹事ということで、まず横浜のニューパーク(日本新聞博物館)を見学。この施設は、2000年10月、日刊新聞発祥の地である横浜に開館され、体験と交流を通じて情報社会と新聞を学べる施設になっています。企画展示室では、2022年報道写真展が開催されていました。東京写真記者協会に加盟する新聞、通信、放送(NHK)35社の記者が2022年に撮影した政治、経済、社会、スポーツ芸能などの決定的瞬間を捉えた300点が展示されていました。北京五輪やサッカーW杯の写真、事件事故の衝撃の写真など見応えのある写真展でした。最後に見学の記念に参加者の集合写真の載った新聞「NEWSPARK TIMES」をいただきました。

いる状態がわかる場所やガス抜きのためにパイプが打ちこんでいるところ、埋立処分場の浸出水をためる集水池なども見ることができました。

東京23区のごみの量は、減少傾向にあるようですが、一人ひとりができること3R(リデュース・リユース・リサイクル)の実践が大事であることを実感する見学となりました。寒い日ではありましたが、天気にも恵まれとても有意義な一日となりました。



ごみ集積処分場

横浜中華街での昼食後、江東区海の森にある中央防波堤埋立処分場を見学。施設では、映像による説明や、粗大ごみ、不燃ごみ処理施設をバスで見学。粗大ごみの山がいくつもあり、粉碎しているところも見ることができました。中でもマットレスに使われているパネは手作業で分別されていると聞きびっくりしました。埋立地では、廃棄物と覆土されて



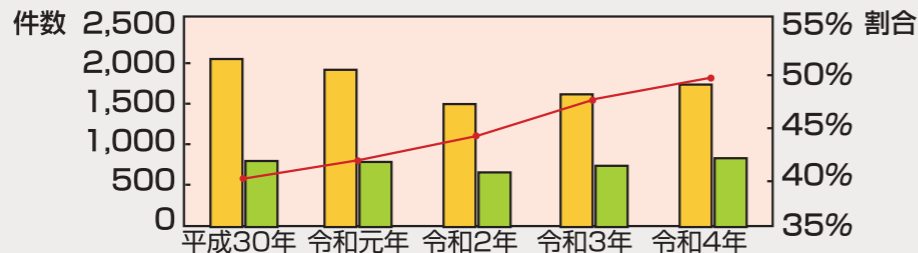
中央防波堤の説明を聞く各委員、これ以上埋め立て地は広げられないとのこと

# 自転車はヘルメットをかぶり 交通ルールを守って利用しましょう

自転車は道路交通法で「軽車両」と位置付けられているため、自動車と同じように交通ルールを、守る義務があります。



## 自転車関与事故の推移（世田谷区内）



	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
全交通事故件数	2,052	1,940	1,522	1,652	1,771
自転車関与事故件数	816	808	669	789	886
自転車事故の割合関与率	39.8%	41.6%	44.0%	47.8%	50.0%

自転車関与事故とは、自転車同士の事故を、2件ではなく1件として、重複を除いた件数

令和4年中の世田谷区の自転車関連事故件数は、886件で前年より97件増加しました。全交通事故に占める構成比は平成30年以降増加傾向にあります。



## 自転車安全利用五則

（令和4年11月1日より）

### 1. 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先

車道と歩道の区別があるところは車道通行が原則です。道路の左側に寄って通行しなければなりません。

歩道を通行できる場合は、車道寄りの部分を徐行しなければならず、歩行者の通行を妨げる場合は一時停止しなければなりません。

### 2. 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認

信号機のある交差点では、信号が青になってから安全を確認し、横断しましょう。一時停止のある交差点では、必ず一時停止をして、安全を確認してから横断しましょう。

### 3. 夜間はライトを点灯

夜間はライトを点けなければなりません。自転車に乗る前にライトが点くか点検しましょう。

### 4. 飲酒運転は禁止

お酒を飲んだときは、自転車に乗ってはいけません。

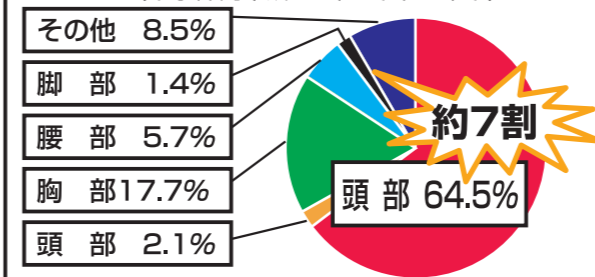
### 5. ヘルメットを着用

令和5年4月1日に施行された改正道交法により、自転車を運転するすべての人がヘルメットをかぶることに努めなければならないのはもちろんのこと、同乗する方にもヘルメットをかぶらせるように努めなければならないことなど、自転車に乗る人のヘルメット着用が全年齢で努力義務となりました。罰則はないものの、警察は着用を呼びかけています。警察庁によると、令和4年に全国で起きた自転車に乗った人の交通事故で、死傷者約68,000人の内ヘルメットの着用率は9.9%でした。

世代別の内訳	着用率
小学生	25.0%
中学生	39.1%
高校生になると	7.5%
65歳以上	3.6%

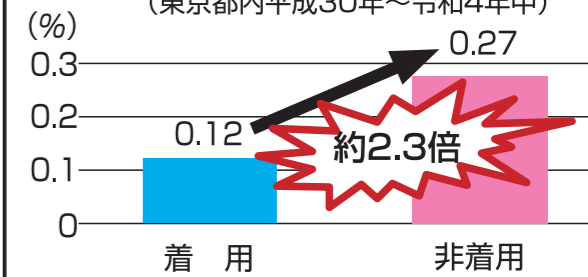
## 自転車乗用中死者の損傷主部位比較

（東京都内平成30年～令和4年中）



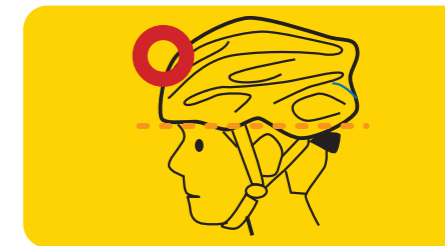
## ヘルメット着用状況別の致死率

（東京都内平成30年～令和4年中）



## ヘルメットの正しい着用方法

- ヘルメットの先端がまゆ毛のすぐ上にくるように角度を合わせ、均等にかぶる。
- あごとあごのひもの中に人差し指一本入れられるか確認する。
- 耳元のV字部分のねじれがないかチェックする。ヘルメットはメーカーにより種類・色・型・サイズがさまざまです。お近くの販売店でぜひ一度手に取ってみてください。



引用元 ◎警視庁 交通総務課 交通安全対策第二係  
◎東京都生活文化スポーツ局  
◎世田谷区のホームページより  
◎警察庁交通局



## 洋画家 利根山光人の世界「壁画は一種の環境芸術である」

利根山画伯の最晩年の作品「母と子」は平成6年7月に、「飛翔」は平成6年2月に完成しました。道路を挟んで世田谷公園の緑が広がっています。

陶板レリーフ原作者・洋画家 利根山光人（とねやま こうじん）について：大正10年9月19日生・平成6年4月14日没。画伯は、メキシコを題材とした情熱的な作品を数多く残し、太陽のような熱い色使いが特徴的で、太陽の画家と呼ばれました。メキシコのマヤ文明をテーマにした作品（リトグラフ、油彩）を数多く残し、1973年に紺綬褒章、1985年に第17回日本芸術大賞、1986年にはメキシコにおける最高文化勲章であるアギラ・アステカ・ブラーカ賞などを授けられました。（北上市立利根



池尻小学校体育館の壁画「母と子」

山光人記念美術館HP)

『母と子』について 温かく柔らかなイメージで、母子像を中心に配し、鯉のぼり・太陽を大胆に取り込んでいます。母子の情愛や子供のエネルギーが表現されています。陶板レリーフ仕上げです。



旧池尻中学校体育館の壁画「飛翔」

『飛翔』について 一対の人物像を中心に据え、両端に太陽を配し、全体として、希望・飛躍・前進・友情・平和などが表されています。

イタリア製のガラス細工と陶板レリーフを併用し、発色の冴えを出しています。

資料 『グラフせたがや』第49号・1995年春号  
（発行：世田谷区区长室広報課）